第１学年　算数科学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日　時　令和元年１１月３０日（土）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　対　象　１年２組　男１４名　女１２名　計２６名

　　　　　　　　　　　　　　　　授業者　深持小学校　川村　愛

本時の学習

1. 目標

数図ブロックの絵を使って足す数を求める活動を通して，足す数は引き算で求められることに気付き，その考え方を工夫して友達に説明することができる。

（２）本時の展開（１０/１２）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教師の働きかけ | 予想される児童の反応 | ◎留意点　〇資料　※評価 |
| １　たし算列車をつくる。  　・たし算列車をつくりましょ  　　う。  ２　本時の学習課題を提示する。  　・「７＋△＝１５」の式の△の部分  を求めましょう。  　△はどうしたらわかるかな。  ・どうして引き算になるのか，となりの友達に説明してみよう。  ３　練習問題を解く。  ・「８＋△＝１８」をやってみましょう。  ４　本時のまとめをする。  　△はひきざんでこたえをだすことができる。  ５　ゲームをする。  　・隠れている数を当ててみましょう。（ペアでゲームを行う）  ６　振り返りをする。  　・今日，勉強して分かったことを，発表しましょう。 | ・いっせ～の～でっ！（カードを出す）５と８で１３になるね！  ・９と９で９＋９＝１８だね。  ・えぇ～！できなかった！  ・できた！８です！  ・指で数えました。  ・でも指で数えてたら，間に合わなかったよ。  ・７にあと３を足したら１０で，さらにあと５を足してできたよ。  ・１５－７の引き算をしました。  ・どうして引き算になるのかな。  ・７にあといくつたせば１５になるか考える。ちがいをだせばいい。  ・１５の中にもう７があるから，１５の中から７をとればいい。  ・７と１５には，同じ（重なっている）ところがある。  ・引き算で空いているところ（残り）の数を出すことができるんだね。  ・１８－８で１０です！  ・やっぱり引き算の方が速いね。  ・９＋△＝１２は１２－９で３！  ・５＋△＝１４は１４－５で９！  ・△の位置を変えてもいいですか？  ・７に足していくよりも，引き算で出す方が速くできました。  ・引き算の方が速くできました。 | ・２～９までのカードで作る。  ・１ペアに２枚ずつカードを配り，できた式をカードに書くように指示する。  ◎列車であまり出なかった答えを選び，みんなで問題に向かう解決意欲を高める。  ◎７や１５の下に，数図ブロックの絵を掲示して視覚化する。  ・手で数えると時間がかかることに気付かせる。  ◎ワークシート（数図ブロックの絵）を子どもたちにも配布して，自由に工夫して使ってよいことを確認する。  ◎足す数の８は，答えの１５の中にあることを確認する。  ※ワークシート（数図ブロックの絵）を使って，引き算になる考えを工夫して説明している。  ◎引き算の方がより速く求められることに気付かせる。  ・１人が目を隠している間に，もう一人が数字カードも使って式をつくり，１枚だけカードをめくる。式の答えは書かせておく。  （まなボードを活用する）  ・子どもから△の位置の変更を提案された場合は，みんなで話し合う。 |